

# 中小企業診断士 津波古 透 の 経営革新、ススタ その10

## 経営革新への取り組みの

## ヒントは「生活者の視点」

平成20年の経営革新支援のスタートとして、1月22日から3日間のスケジュールで、南城市商工会を中心とする南部地区3市町を対象とした経営革新セミナーを実施しました。

今回は既に経営革新計画の承認を受けた会員企業2社からの事例報告を目玉に、業種や規模にとらわれず、経営革新に取り組むことの必要性をお伝えする内容でカリキュラムを構成。約30名の方が受講されました。

今回、特に注目を集めたのは既に経営革新に取り組んでいる会員事業所2社からの報告。

1社目は「ひろし畳店」(宜野湾市商工会会員)の仲井真部長に、畳店としては業界初となる経営革新計画承認についてご報告いただきました。

畳店というと、伝統的な産業という印象が強く、経営革新ということはなかなかイメ



経営革新の取り組みを語る仲井真部長



南城市商工会経営革新セミナー3日目の様子

ジできませんでしたが、仲井真部長のお話によると、消費者に最も良い商品を提供しようと常に考え続け、それを実行しようとする中で、経営革新への取り組みへ発展していったとのこと。

ひろし畳店では、畳製造の過程で生じる端材を、地域を流れる川の浄化に使うなど消費者の生活環境に大きな関心を持っており、今回、自社製品に特殊な加工を施すことにより、住宅の室内の空気を浄化し、カビやダニの発生を抑える丈建エコ畳を開発し

ました。この取り組みはマスコミにも大きく取り上げられ、複数のテレビ番組で報道され、また、東京で開催された中小企業総合展にも出展する等、県外への出荷も視野に入れた活動を展開しています。

そして、もう1社は「有限会社 新垣設備」(うるま市商工会会員)の新垣社長に管工事業界からの経営革新事例を報告していただきました。

有限会社 新垣設備は市の給排水設備工事等を行っており、今回の経営革新計画は水道管内の流水を遮断することなく内視鏡装置で調査し、赤錆ごぶによる水質汚染や水量低下等を点検し、必要に応じて修理を行うというものです。



経営革新の取り組みを語る新垣社長

これは、水道を断水させずに管内を検査し、必要な箇所を効率よく取り替え修理をするためのもので、生活者の利便性を損なわないという視点に立った取り組みの良い例といえるでしょう。

今回お話を伺った2社ともに、経営革新ということをイメージすることが

なかなかできない業種といえます。しかしながら、「生活者の視点に立つ」という大きなテーマを経営マインドの根底におくことにより、様々な角度で物事を捉え、斬新で具体的な経営革新への取り組みとなっているということが理解できました。

セミナー等を通じて会員事業所の皆さんに対し、経営革新への取り組みを勧めていくと、必ずといっていいほど、「何をすればいいのか、テーマが見つからない」という声が聴かれます。経営環境がますます厳しくなることは十分に理解しており、危機感もある、しかし、何をどのようにしていけば良いかが判らない、企業にとって経営革新と呼べるような取り組みを見つけ出す事ができない、という方がかなり多いようです。

そのような方々は、今度、創業時の精神に立ち戻り、生活者の視点に立って自社を見つめなおす取り組みの良いヒントが見つかるかもしれません。

### <著者プロフィール>

〔文〕津波古 透(つはこ とおる)  
沖縄県商工会連合会  
支援課 専門経営指導員  
シニアアドバイザー/中小企業診断士  
琉球大学卒業後、大手メーカー等を経て平成7年に与那原町商工会で経営指導員として採用される。商工会での業務の傍ら大学院に進学し、修了後は沖縄国際大学や沖縄大学で夜間部の非常勤講師を5年間勤めた。